

SHIO no SYOUMONAI—

映画「舞妓Haaaaan」を観てきました。当然舞台は京都なのですが、なぜか多くの場面で金沢の浅野川沿いが使用されていました。

監督へのインタビューでは「ありのままの京都をそのまま撮ってしまうと、日本人が持っている京都のイメージからどうしてもずれちゃうんだよね。一般的に『THE京都』っていう凝縮された京都のイメージがある。映画は夢を裏切っちゃいけない。だから、東京にオープンセットも作って、日本人誰もが持っている「THE京都」を作りあげるように努めましたね。」とのこと。

金沢市側としては、ロケ地としての市場効果はあるものの、小京都という呼ばれ方に抵抗を感じている人々も多く、『THE京都』がイコール金沢浅野川沿いというのも自己矛盾かもしれません。

ここ数年、特に昨年から今年にかけて石川県ロケが集中しています。海、里、まち、山が半島にぎっしりと詰め込められている石川県は、広さや特殊性には欠けるものの、ロケには便利な地なのでしょう。

来年北京オリンピックを契機に、中国も様々な問題を残しながらも、日本以上に底が見えない神秘性を武器に観光立国していくはずです。

その時に、日本は、世界遺産のような特異性を有する地域の保全も重要ですが、それぞれは世界的価値はないけれど、おもちゃ箱のように日本の香がいっぱいつまっている地域も、これからは重要な「商品」として残していかなければいけないのではないのでしょうか。

現代日本人が失ってしまった「ゆったりとした時間と生活」「疑うことを知らない正直さ」など物質的な対象だけでなく、日本人としての精神性そのものが観光対象となる「宝物」であることに気づく頃なのかもしれません。

ICHI no UNCHIKU

今月はお休みします。 市村 鉄治



2007/08

(株)アスリック

<http://www.neting.or.jp/usric>

↑バックナンバーはこちらから。
年に一度の更新です。

〒920-1166

石川県金沢市上若松町23番地

電話 076-233-7217

Fax 076-233-7375

Email usric@neting.or.jp

2007/08

(株)アスリック

<http://www.neting.or.jp/usric>

景 月



高岡市瑞竜寺ライトアップ
by shio

著者ご本人のご希望により、インターネット版ではご覧いただけません。

濱のしづみや 『化学と気性』

キレるネズミ「誕生」

独協医大教授ら、脳内分泌を調整。

数年前にインターネット版朝日新聞で報じられた記事である。

独協医科大学解剖学の上田教授らが、キレやすいネズミを人工的につくり出すことに成功したそう
で、脳内にある三つの伝達物質の分泌が一定の条件
の時に攻撃性や衝動性が顕著になったらしい。

3 物質は興奮や緊張に関係するとされるドーパミン、ノルアドレナリンと、行動抑制に働くとされるセロトニン。教授らはこれらの脳内での分泌を薬などで調節し、それぞれの分泌が通常より多いか、少ないかで計8通りの状態のネズミをつくって、各々で攻撃性が増すかどうかを観察、記録したという。

攻撃性が顕著に高まったのは、ドーパミンの分泌が増し、ほかの二つを減らした場合だという。この状態のネズミは、別のネズミとの間の仕切りを取った途端に相手にとびかかった。通常ならまずにおいをかいだり、威嚇したりする初期行動は全くとらず、相手が服従の姿勢をとった後も威嚇の声を出し続けるなど、激しい攻撃行動や衝動的な行動を見せたそうである。

通常は社会的行動の1%しかない攻撃的な行動が、このグループでは実に60%にもなっていたと報告されている。

教授によると、「キレやすい人間の脳の中でも似たようなことが起こっているのではないか。興奮にかかわるノルアドレナリンが減った場合に攻撃性が高まっており、この物質はもっと複雑な働きをしていることを示している」とのことである。

通風患者に激する人が多いという。私自身、尿酸値が高かった頃、恥ずかしながら車の運転でよくキレていた。頂いた薬と、多めに水を飲むようにして以来、値は正常に戻り、心も穏やかになったが、化学物質で精神状態が左右される空恐ろしい体験をしたと思っている。

病を治す薬は、化学物質である。麻薬の存在は、化学物質で思考回路や精神状態が変えられる事を示している。環境ホルモンによって種々の動物の生殖器に異常が発見されており、種の絶滅・激減に拍車がかかっている。多くの化学物質が致死量を以って環境許容量が決められているが、生殖的に、あるいは精神に変調を来たす量は、おそらくその何倍も少ない量で十分のようだ。

水によって、土地の人の気性が変わるといふ。水は日々の暮らしに欠かせない。飲むばかりでなく、食事からも一日に五百ミリリットルほど水分が取得されているという。常時晒される水に極微量でも含まれる成分からの影響は、決して小さくはないだろう。

毎日頂いている水や食事の本当の質について、もっと関心を持つ必要があるはしまいか。そこから環境問題を考え始めると、地球環境と健康とは密接不可分であることが、今より認識されるように思う。

地球と我が身とは、つながっている。

国ではビジットジャパンキャンペーンをかけ声とするインバウンド観光が大きな観光政策になっており、東北地方においてもその動きが顕著になってきた。

『秋田県観光統計』によると、2006年において秋田県に宿泊した外国人客は、約3万3千人と前年比39.9%増となった。国別の内訳をみると、韓国が約1万5千人で前年比66.0%増、台湾が同40.0%増となっている。これを四半期別にみると、韓国は1～3月に36.5%、10～12月に25.6%、台湾からは10～12月に35.9%が宿泊しているなど、秋から冬の割合が高くなっていることに注目したい。これは雪・スキーを誘客ポイントとして、それに温泉を加味してのことであろう。具体的な宿泊地のデータは明らかにされていないが、人気の宿泊地は、玉川温泉、乳頭温泉郷といった温泉地のようなのである。

秋田県のみならず東北地方の各県とも、韓国・台湾からの観光客に大きな期待を寄せている。そのセールスポイントにあげているのはスキー、温泉、ゴルフのようである。

韓国についてみると、スキー場はソウルの東側、京畿道と江原道に分布しているがスキー場の数が少ない、狭い、高い、雪質が良くない、高速道路の大渋滞が日常化していることなど、マイナス材料が大きい。それに韓国における事情の変化もある。週休2日制の定着、円安ウォン高、短期の訪日にあたってのビザ廃止などの要因もある。これも明確なデータがなく恐縮であるが、秋田～仁川直行便は週3便大韓航空が運航しているが、韓国人利用者が4割を超えている時期もあるようであり、かつての日本人利用者による一方通行から様相は変わってきた。

外国人観光客の冬季における増加はどこか閉塞感のある秋田県や東北地方において、右肩上がりの数字は明るい材料である。東北地方で冬の誘客は厳しいとされてきたが、韓国や台湾からの誘客効果をもっと観光や地域振興に波及していく必要があるだろう。

著者ご本人のご希望により、インターネット版ではご覧いただけません。

番外編 地震など災害への対応

保険料払込猶予期間の延期措置

大きな震災が立て続けに起きてしまい、中には被災した方もいらっしゃるのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。

さて、生命保険は震災によりケガをした、もしくは死亡されたというときには、当然給付金や死亡保険金をお支払いいたしますが、それ以外にもお客様を支えるシステムがあることをご存知でしょうか？

それがタイトルの「保険料払込猶予期間の延期措置」です。

今回はシリーズの相続をお休みして、災害に関する特例措置をご案内いたします。

Case Study

田中さんは、震災により自宅が半壊の状態になってしまいました。幸いにもご自身もご家族も無事でしたが、生活に必要な家財道具や衣類などがつぶれてしまい、家族が加入されている生命保険料の支払いを生活が落ち着くまで待ってほしいな、と考えていました。

そこへ生命保険会社から案内が送られてきました。その内容は保険料の払い込みを猶予するので、希望する場合は申請するよう書かれていました。

Answer

保険料払込猶予期間の延期措置を受けるには下記の条件があります。

- ・災害救助法適用地区となっていること
- ・契約者から申し出があったとき

この条件を満たした場合、最長6ヶ月間にわたり、保険料の払込を猶予するという特例措置がとられます。そして猶予期間が終了したとき、保険料を一括で払い込んでいただくこととなります。

地震やさまざまな災害で被害を被ったとき、通常では予測のつかないことが多々あると思います。生命保険は一見関係ないと思われるかも知れませんが、何かの形でお役に立てることもあるかと思しますので、万一の時には担当者にご相談されることをお勧めします。

注：保険会社によって条件が異なります。詳しくは加入されている保険会社にお問い合わせください。

TAKI no TAWAGOTO

【最近気になってしょうがない乗り物 'モペット'】

このところのガソリン高のせいなのか、頭の中が懐古趣味になったせいなのか、単なるケチな性分の現れなのかはよくわからないが、このところ妙に気になってしょうがない乗り物がある。「モペット」と呼ばれる自転車なのかバイクなのかよく解らない乗り物である。法律上は「原動機付自転車」、いわゆる原付バイクなのだが、自転車の様にペダルを漕いでも一応走るのである。ああ、そういえば自分が幼稚園のころ、ペダルで漕ぐ変なバイクにおじさんが乗っていただのを見かけた記憶が確かにある。しかしその乗り物が40年以上経たこの平成の時代の若者にひそかなブームになっているというから、これまた奇妙な話でもある。そんな訳で、人気の「モペット」をいくつか。

●PEUGEOT VOGUE
(プジョー ボーグ)

価格: ¥168,000~192,000

□フランスのあのプジョー製のモペット



●TOMOS CLASSIC
(トモス クラシック)

価格: ¥163,000~173,000

□自転車王国オランダのモペット



●PIAGGIO CIAO (ピアジオ チャオ)

価格: ¥175,000

□イタリア映画によく出てくるモペット



●FK310 LA II (フキ310 LA II)

価格: ¥102,900

□国産の超クールなモペット (自分はこれが好き)



●FK310 (フキ310)

価格: ¥73,290

□昭和30年代を思い起こさせるデザ



明日裡空塾 79

第五十六章

知者不言。言者不知。塞其兌。閉其門。挫其銳。解其紛。和其光。同其塵。是謂玄同。故不可得而親。不可得而疎。不可得而利。不可得而害。不可得而貴。不可得而賤。故爲天下貴。

六境・六根・六識、仏教用語ですが、視覚・聴覚・味覚・臭覚・触覚・意覚に対応したその対象と入力装置(眼、耳など)、評価を示した用語です。

経験するためには、本来は全ての対象をいったん飲み込んで、未選択の状態の情報を蓄積し、すこしずつ知識化、イメージ化していくこととなります。

この際に、その選択の基準に「先入観」が混在していると、正しい知識としての蓄積を阻害します。

また、インターネットや携帯電話、パーソナルゲームなど、画像と音だけで、実在する他との交流が不必要な装置が主要なコミュニケーションツールとして定着している現代は、「視覚・聴覚」ばかりが刺激される時代とも言えます。

この影響が様々な場面で犯罪や事件などに出現していると、大袈裟ではなく判断できる状況となっているのかもしれませんが。

視覚情報や聴覚情報は簡単に言語化できますし、前述したコミュニケーションツールはすでに言語化(記号化・データ化)されているので、何の抵抗もなく情報として入手可能です。

しかし、「言語化」して伝えることが困難な「味覚・臭覚・触覚・意覚」については、自分自身でも詳細に「言語化」する必要もないために、言語化

する以前に感覚の段階でストップし、蓄積されていくこととなります。

頭在意識のレベルでは、「視覚・聴覚」だけで十分に判断できると考えてしまうことになるわけです。

老子は言います「知る者は言わず、言う者は知らない。」

「言語化」しづらい「味覚・臭覚・触覚・意覚」、例えば、水の味、まちの香、歩く距離感覚、懐かしさなどは、インターネットからの画像と文字だけでは伝わってきません。

本当に「知っている」とは当事者が余所者の感覚を持った時に初めて発すべき言葉かもしれませんし、そうなると言語を超えた真実を伝える必要があるために、表現することができないのかもしれませんが。

プランナーとしての「フィールドサーベイ」はまさに「余所者が当事者の感覚を持つ」に近い経験をするということなのでしょう。